Ⅱ. 일본철도교 용접기준

建造物設計標準(鋼鉄道路)の手引き

鋼橋設計内規 10－1E	溶接の標準と溶接記号
昭和 46 年 9 月 20 日 制定	昭和 59 年 4 月 1 日 改正

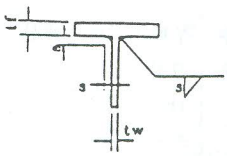
鋼鉄道橋の溶接継手における開先溶接の標準的な形状、または、すみ肉溶接の標準的なサイズについては、建造物設計標準(鋼鉄道橋)に基づき、次のように定める。

なお、溶接記号はＪＩＳ Ｚ 3021－1981による。

1. フランジプレートと腹板とを接合する溶接

1.1 腹板の厚さが 15 mm以下の場合

すみ肉溶接とし、溶接のサイズは表1の twおよび tf に対する値のうち、大きい方の値をとる。



図－1

表－1

(単位：mm)

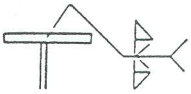
tw	8	9	10	11	12	13	14	15
S	6	7		8	9	10		11

(単位：mm)

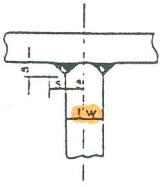
tf	18以下	19～25	26～32	33～40	41～50
S	6	7	8	9	10

1.2 腹板の厚さが 16 mm以上の場合

開先溶接とする。その記号は図－2のとおりとするが、図面の見易い個所に溶接詳細図を表－2を参考にして記入すること。



図－2



図－3

表－2

tw	16	19	22	25	28	30	32
S	6	7	8	9	10	11	

1.3 上路プレートガーダーおよび鈑桁の場合

1.3.1 直接まくら木を受ける場合